



おはなしトレイン

ふゆのワクワク号

学年ごとに おすすめの本を しょうかいします。ゆきうさぎのマーク  は読みやすいおはなし。
ゆきだるまのマーク  は読みごたえのあるおはなしです。ぜひ、チャレンジしてください。

1・2年生



かやのしげる ぶん
萱野茂 / 文
どいかや / 絵
あすなる書房

『アイヌのむかしばなし ひまなこなべ』

北海道などにずっとむかしから住んでいるアイヌの人は、あらゆるものにたましいがやどっていて、それらはみんな神さまだとしんでいます。なかでもくまはとくべつでした。そのくま神が、村でおもてなしをうけ、おどりの上手なわかもと出会いますが…。やさしい絵とおはなしで大切なことをおしえてくれます。いつまでもながめていたくなるような絵本です。

3・4年生



ラッセル・E・エリクソン / 作
ローレンス・ディ・フィオリ / 絵
佐藤涼子 / 訳
評論社

『火曜日のごちそうはヒキガエル』

冬のある日、ヒキガエルのウォートンはスキーをはいておばさんの家へおかしをとどけに出かけます。しかし、途中でたちのわるいミミズクにつかまってしまいました。ミミズクは今度の火曜日、自分のたんじょう日の特別なごちそうとして、ウォートンを食べるというのです。一日が終わるごとにバツ印がつけられるカレンダー。もうすぐ火曜日がやってきます！

5・6年生



マージェリー・シャープ / 作
わたなべしげお やく
渡辺茂男 / 訳
いわみしよてん
岩波書店

『ミス・ピアンカ くらやみ城の冒険』

「囚人友の会」。それは、とらわれの人たちをはげましたり、助けたりするねずみの国際組織です。ピアンカ、バーナード、ニルスの3匹は、友の会の任務を受け、地の巣てにあるくらやみ城にとらわれた詩人を助け出そうとします。巨大でどうもうな猫、入口のない監獄など、数々の難関に立ち向かう勇気あるねずみたちの活やくを、きっと応えんしたくなりますよ。



『こいぬとこねこのおかしな話』



ヨゼフ・チャベック/作
木村有子/訳
岩波書店

もり ちか ちい いえ
森の近くの小さな家でなかよくく
らしているこいぬとこねこは、なん
でも人間のとおなじようにや
りたいと思っています。ゆかをそう
じしてみたり、てがみをかいてみ
たり、ケーキを作ってみたり…。うま
くいくことはほとんどありません
が、それでもふたりは毎日とても
たのしくくらししています。みじかく
て読みやすい「おかしな話」が10
話入っています。

『サンタクロースのはるやすみ』



ロジャー・デュボアザン/ぶん・え
小宮由/やく
大日本図書

クリスマスにいちばんいそがしい
ひとといえば、そう、サンタクロ
ースですね！でも、クリスマスが
いの日は、なにをしているのでし
ょう？このおはなしでは、サンタク
ロースがはるやすみをとって、りょ
こうにでかけます。ところが、いつ
ものかっこうとちがうので、まちの
ひとたちから、にせものだと思われ
てしまいます。さあ、どうしたら
いいのでしょうか。



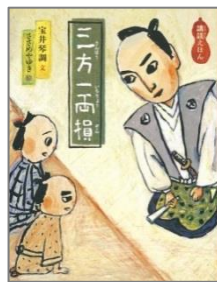
『グリムのむかしばなしⅠ』



ワンダ・ガアグ/編・絵
まつおかきょうこ/やく
松岡享子/訳
のら書店

シンデレラは、かぼちゃの馬車がない
とお城に行けないのでしょうか？
ドイツのグリム兄弟による
おはなしでは、実はかぼちゃの馬車
はできません。その代わりに、ハ
シバミの小枝と小さなハトが、とて
も大切な役わりとしてできます
よ。他にも「ヘンゼルとグレーテル」
など、テンポのよいお話が7話
入っています。

『講談えほん 三方一両損』



たからい きんちよう ぶん
宝井琴調/文
ささめやゆき/絵
福音館書店

さんぼういちりょうぞん
神田白壁町の金太郎が拾った財布
には三両もの大金が！ところが
落とし主の吉五郎は、「落とし金
をまた懐に入れては江戸っ子の
恥」と受け取りません。返してあげ
たい金太郎と受けとりたくない吉
五郎の意地のはり合いは、とうとう
奉行所へうったえ出るまでに…。
知恵と心意気のある名奉行、大岡
さまがどんなお裁きをくださるの
かは、読んでみてのお楽しみ！



『天の鹿』



あわなおこ/作
スズキコージ/画
福音館書店

やま は あか つき
山の端に赤い月がのぼったある晩、
しか めいじん せいじゅう ひと ことば はな
鹿うち名人の清十は人の言葉を話
す牡鹿に出会います。清十は、牡鹿
を見のがすかわりに「鹿の市」へ案
内されました。そこで手に入れた
首飾りをきっかけに、彼の娘たち
もまた、牡鹿に連れられて「鹿の市」
に行くこととなります。牡鹿には何
か考えがあるようなのですが…。
昔話を思わせる、美しくもさび
しいファンタジー。

『パディントンのクリスマス』



マイケル・ポンド/作
ペギー・フォートナム/画
松岡享子/訳
福音館書店

パディントンはペルーから来た好
奇心旺盛なくまの子。今は、イギリ
スのブラウンさんの家にお世話に
なっています。クリスマスが近づい
たある日、パディントンはブラウ
ンさんの奥さんと、初めてデパートに
行きました。けれど、デパートの人
たちもくまのお客さんは初めてで
す。パディントンは、みんなのプレ
ゼントを無事に買うことができる
のでしょうか？

